科目名	78．看護師の一歩手前/OSCE				
履修年次	3年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	対象の状況を判断し必要な看護援助を考え、実践することができる				
到達目標	１）事例患者に対して関心を持ち、緊急性や重症度を見極めながら、優先順位を判断し表現することができる ２）既習の知識を活用し、事例患者に対し必要な看護援助を考え表現することができる				
評価方法	学習到達度基準を用いたレポート評価（40点）、客観的臨床能力試験:OSCE（60点）による総合評価を行う				
使用 テキスト					
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	「看護師の一歩手前/OSCE」では、既習の知識をもとに状況判断し対象にとっての必要な看護援助を行うと共に、援助における自己の課題を明確にし看護職者としての自覚を持ってもらいたいと考えています。そのため、この科目ではこれまでの講義や実習や学習で培った力に合わせてチームで協働して働くとはどういうことか、時間や様々な制約のなかで患者の安全と安楽と自立を基盤に大切にしたい看護を行動に示していくとはどういくことか、働くことのイメージや課題について演習を通して学んでほしいと思います。教える人は教師ではありません。3年間で看護の実力を身につけてきた学生同士の学び合いを期待しています。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	統合領域の位置づけ	15回の授業の概要の説明…事例患者の紹介 組織の中の一員を意識し、複数患者を受け持つ際の優先順位と時間調整及び管理について学び、自己の能力を知る （複数患者受け持ちの際の行動計画　DVD視聴）	講義
2	オリエンテーション（OSCE含む）	シミュレーション演習について	講義
3	複数患者の優先順位	日勤帯の2名の患者の状態把握しバイタルサイン測定を通して状況判断や優先順位の考え方について学ぶ （多重課題・時間切迫下で、自己の力量及び優先順位の決定ができる）	シミュレーション（実習室）
4			

5	夜勤帯における巡視	夜間帯の2名の患者の状態を把握し巡視体験を通して夜勤帯の看護師の役割を学ぶ （夜勤帯におけるリーダー　DVD視聴） （1日24時間を意識した患者の生活リズムや医療チームの一員としての行動が考えられる）	シミュレーション 講義 （実習室）
6			
7	複数患者の看護援助	アセスメントに基づいた看護援助の検討	講義 演習 （実習室）
8	安全・安楽・自立の視点	複数患者の看護援助を優先順位や時間を意識し安全・安楽・自立の視点を踏まえての実践	
9	突発事象を踏まえての対応	もし突発事象が起こったら、どのように対応すれば良いのか、常に先を予測し計画変更を視野に入れて考え、SBARを用いた報告についての検討	
10	中間発表	他グループの学びの成果や自グループの成果を動画で撮影し振り返ることによる学びの共有	成果発表 (実習室)
11	リフレクション （省察）	成果発表を通してグループ間でのリフレクションを行い、OSCEに向けての準備	演習 （実習室）
12	客観的臨床能力試験（OSCE）	グループ間で取り組んだ学びの成果を個人ごとにその場・その状況に応じた判断/技術の提供ができているのか客観的臨床能力試験（OSCE）での評価	客観的臨床能力試験 （OSCE） （実習室）
13			
14			
15			